■坂本九 歌手。日本ポップスの海外最大ヒット「スキヤキソング」後、福祉活動も。〈日航ジャンボ機事故〉で早世。

さかもときゅう

日米開戦・・・1941＝ 川崎市の荷役請負業（丸木組）社長坂本寛の第9子、後妻いくの子に生まれる。そろそろ名前のネタが尽きてきたことから“九”と命名されたという説がある。
創価学会検挙1943＝ 2歳：母の実家のある茨城県笠間市に疎開に向かう常磐線が土浦駅列車衝突事故で川に転落し、多数の犠牲者を出したが、遭難死を逃れる。成長して周囲の人々にこの一件を聞かされて知り、笠間稲荷神社を終生信仰。
敗戦・・・1945＝ 4歳：

朝鮮戦争始・・・1950＝ 9歳：

独立回復・・・1951＝10歳：

日大附属横浜学園高校在学中、両親が離婚するが、家族の交流は変わらず。この前後からエルヴィス・プレスリーに憧れるようになり、その物まねで仲間内の人気者となる。
インスタレーン・・・1958＝17歳：ザ・ドリフターズに加入しギターを担当するも脱退し、ダニー飯田とパラダイス・キングの一員としてビクターレコードと契約。
美智子妃・・・1959＝18歳：「題名のない唄だけで」でデビューするも、ヒットせず、パラダイス・キングが、
安保闘争・・・1960＝19歳：卒業。*〔東芝EMI〕に移籍し、第1弾シングル「悲しき六十才」が10万枚を売り上げ、初ヒットとなる。
タイタイ病始・・・1961＝20歳：*NHK〔夢で会いましょう〕で歌った「上を向いて歩こう」が大ヒット。以後、ソロ歌手となり、重圧に苦しみながらも、毎年NHK紅白歌合戦に出場。また映画にも以後数年毎年数本出演。
全国総合計画1962＝21歳：小児麻痺の為のチャリティーショーに無報酬で出演。以来、10年間北海道でチャリティーショーを続け、
TV宇宙中継始1963＝22歳：「上を向いて歩こう」が「SUKIYAKI」となり米{ビルボード}誌で3週連続1位。「見上げてごらん夜の星を」、
東京リビッツ 1964＝23歳：*米国内でのレコード累計販売枚数が100万枚を超え、日本人初の「ゴールドディスク」を受賞。世界的に名前が知られ、東京オリンピックのウェルカムパーティーにゲスト出演。「幸せなら手をたたこう」。
大学紛争始・・・1965＝24歳：宮城県立西多賀養護学校の応援歌「ともだち」は、{あゆみの箱}のテーマソングとなる。
いざなぎ景気1966＝25歳：永六輔作詞・フィンランドのラウノ・レティネン作曲の「レット・キス」。
美濃部都知事1967＝26歳：競作「世界の国からこんにちは」は、三波春夫のバージョンと共にヒット。
震ヶ関ビル・・・1968＝27歳：
全共闘・・・1969＝28歳：「涙くんさよなら」。「蝶々」が理不尽な放送禁止となり、急遽「遠い昔の母の胸に」。
大阪万博・・・1970＝29歳：日本万国博覧会で若手芸能人の万国博委員、読売テレビ{クイズEXPO'70}の司会に起用される。
トルショック・・・1971＝30歳：女優の柏木由紀子と結婚、NHK紅白歌合戦はこの年が最後になる。
石油ショック1973＝32歳：NHK人形劇{新八犬伝}エンディング曲「夕やけの空」。
角栄金脈辞任1974＝33歳：長女花子が誕生。
田中角栄逮捕1976＝35歳：続けてきたチャリティーショーを契機に、札幌テレビ放送制作の福祉番組{ふれあい広場・サンデー九}に取り組み、その主題歌シングル「何かいいことありそうな」は、北海道限定で発売された。
JALハイジャック・・・1977＝36歳：次女舞子が誕生。
革新大敗北・・・1979＝38歳：番組の中で発表した「日本初の手話の歌「そして想い出」を全国ろうあ者大会で披露するなど、障害者福祉慈善活動にも積極的に参加するなどしていたが、
中曽根内閣・・・1982＝41歳：自ら作詞・作曲し、亡き父に捧げた「親父」、
デイズ・ニューボム・・・1983＝42歳：覆面歌手「XQS(エクスキューズ)」として「ぶっちぎりNO文句/おとなの童話?今だからいうけれど?」発売し、衝撃を与える。
ジャンボ機墜落1985＝44歳：ファンハウスに移籍し、第1弾シングル「懐しきlove-song/心の瞳」を発売して、*再び歌手活動を本格化させようとしていた矢先、日航機墜落事故の犠牲となった。